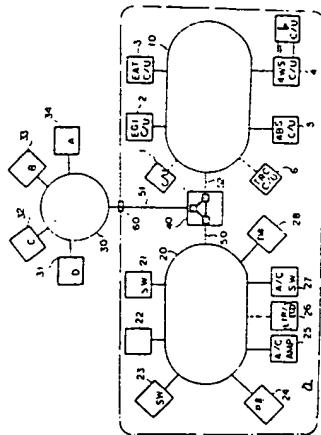


## (54) MULTIPLEX TRANSMISSION EQUIPMENT FOR VEHICLE

(11) 3-283842 (A) (43) 13.12.1991 (19) JP  
 (21) Appl. No. 2-81408 (22) 30.3.1990  
 (71) MAZDA MOTOR CORP (72) SEIJI HIRANO  
 (51) Int. Cl. H04L12/28, B60R16 02, H04L12/66, H04L29/06

**PURPOSE:** To integrate processing routes by providing a gateway node which controls data transfer between nodes of a first group and nodes of a second group.

**CONSTITUTION:** A control system network 10, a vehicle system network 20, and an out-vehicle network (trouble diagnostic system) 30 are connected to one another through transmission lines 52, 50 and 51 by a gateway node 40, and networks 10 and 20 constitute an integrated network in a vehicle. The network 30 is connected to intra-networks 10 and 20 through the gateway node 40 by a connection connector 60. Thus, networks 10, 20, and 30 consisting of only nodes properly distributed in accordance with degrees of contribution to running control are constituted among respective groups, and networks 10, 20, and 30 can transfer data to one another without being isolated because the gateway node 40 is interposed.



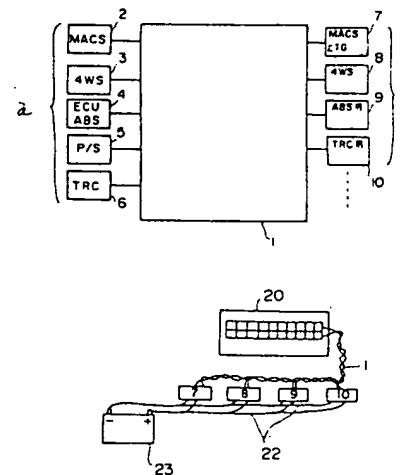
1: air pack C/U, 21: combi. SW, 22: meter, 23: steering SW, 24: P seat door module, 26: audio (ETR.ECD), 28: D seat module, 31: node D, 32: node C, 33: node B, 34: node A, a: intra-vehicle multiplex network, b: active gas

## (54) MULTIPLEX TRANSMISSION EQUIPMENT FOR VEHICLE

(11) 3-283843 (A) (43) 13.12.1991 (19) JP  
 (21) Appl. No. 2-81410 (22) 30.3.1990  
 (71) MAZDA MOTOR CORP (72) MINEHARU SHIBATA(3)  
 (51) Int. Cl. H04L12/40, B60R16/02, H04L12/66, H04Q9/00

**PURPOSE:** To perform alternative control at the time of fail of a part of a system by regarding communication nodes for electric apparatus having the control function like a controller and communication nodes for input/output electric apparatus like a sensor and an actuator as nodes independent of each other and supplying power to them respectively.

**CONSTITUTION:** Communication nodes 2 to 6 for electric apparatus having the control function like a controller and communication nodes 7 to 10 for input/output electric apparatus like a sensor and an actuator are connected to a common multiplex transmission line 1. Power lines 22 are individually connected to respective nodes. Thus, alternative control of the sensor, the actuator, etc., 7 to 10 is performed by another controller though a partial controller fails, and the safety against fail is secured.



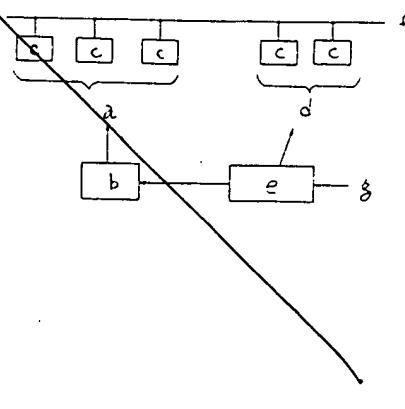
a: CPU system, b: sensor/actuator system, 7: MACS vertical G sensor, 8: steering angle sensor for 4WS solenoid, 9: ABS, 10: motor for TRC

## (54) MULTIPLEX TRANSMISSION EQUIPMENT FOR VEHICLE

(11) 3-283844 (A) (43) 13.12.1991 (19) JP  
 (21) Appl. No. 2-81411 (22) 30.3.1990  
 (71) MAZDA MOTOR CORP (72) OSAMU MICHIIHARA(2)  
 (51) Int. Cl. H04L12/40, B60R16/02, H04L12/42

**PURPOSE:** To use a transmission line of relatively low speed by giving the access right for the transmission line to plural time slots in time division and inhibiting the access right to one time slot out of individual time slots in all communication nodes of a first group.

**CONSTITUTION:** A time division means which gives the access right for the transmission line to plural time slots in time division and an inhibiting means which inhibits the access right to at least one time slot out of individual time slots in all communication nodes of the first group are provided. Consequently, the probability that the access of second nodes as high-speed nodes is held is reduced when nodes of the first group are used as low-speed nodes. Since nodes of the first group are low-speed nodes, it does not matter if the access of these nodes is held. Thus, holding of the access is relatively reduced with the low cost.



a: first group, b: inhibiting means, c: node, d: second group, e: time division means, f: multiplex transmission line, g: access right

## ⑫ 公開特許公報 (A) 平3-283842

⑬ Int. Cl. 5

H 04 L 12/28  
 B 60 R 16/02  
 H 04 L 12/66  
 29/06

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)12月13日

N 7443-3D

7928-5K	H 04 L	11/00	3 1 0	C
8948-5K		13/00	3 0 5	B
7830-5K		11/20		B

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全9頁)

⑮ 発明の名称 車両用多重伝送装置

⑯ 特願 平2-81408

⑯ 出願 平2(1990)3月30日

⑰ 発明者 平野誠治 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

⑯ 出願人 マツダ株式会社 広島県安芸郡府中町新地3番1号

⑰ 代理人 弁理士 大塚康徳 外1名

## 明細書

## 1. 発明の名称

車両用多重伝送装置

## 2. 特許請求の範囲

(1) 1つ以上の第1のグループの通信ノードと1つ以上の第2のグループの通信ノードとを車両内に有する車両用多重伝送装置において、

前記第1のグループの通信ノードが共通に接続された第1の多重伝送路からなる第1のネットワークと、

前記第2のグループの通信ノードが共通に接続された第2の多重伝送路からなる第2のネットワークと、

前記第1と第2の伝送路とを接続するノードであって、第1のグループのノードと第2のグループのノードとの間でのデータ転送を司るゲートウェイノードとを具備したことを特徴とする車両用多重伝送装置。

(2) 前記ゲートウェイノードは車外のネットワークと接続可能な端子を有する事を特徴とする請

求項の第1項に記載の車両用多重伝送装置。

(3) 前記車外ネットワークには、故障診断装置のためのノードが接続される事を特徴とする請求項の第2項に記載の車両用多重伝送装置。

(4) 前記第1のグループのノードは、車両の走行制御に使用される各種コントローラであって、且つ、互いに相關の強いデータを必要とするコントローラのためのノードである事を特徴とする請求項の第1項に記載の車両用多重伝送装置。

## 3. 発明の詳細な説明

## (産業上の利用分野)

本発明は、例えばCSMA/CD方式等のような多重伝送方式を車両内の信号伝送に適用した車両用多重伝送装置に関する、特に、この分散型の多重通信ネットワークを複数形成し、各ネットワーク間をゲートウェイノードで接続するように構成した車両用伝送装置に関する。

## (従来の技術)

自動車のエレクトロニクス化に伴ない、電子部品間を結ぶ配線(ワイヤハーネス)の肥大化、複雑化が深刻な問題となってきた。この問題を特に自動車の分野において解消するために、多重通信が注目されている。多重通信は1つの配線上に複数のデータを時分割多重で送出するもので、基本的にはシリアル伝送が基本となっている。

自動車の分野においては、この多重通信のネットワーク形態は、完全多重型と部分多重型という分類、または、集中型と分散型という分類に分けて考えられている。部分多重型は、非多重通信部

を更に発展させたPALMNET(Protocol for Automobile Local area Network)方式も特開昭62-302421号として提案されている。

また、本出願人による特開平1-36541号には、マスタノードが、伝送路上にチャネルを設定して、バスアクセス権を時分割するための基準パルスを送出するようになっている。

## (発明が解決しようとする課題)

ところで、最近の車両用の多重通信システムでは、狭義の意味のコントローラ(エンジンコントローラやトラクションコントローラ等)を多重通信で接続する提案がなされているが、これらのコントローラで、他に送出すべきデータ及び自身が必要とされるデータの発生頻度はかなり高いために、これらのコントローラのための通信ノードを、例えばアクチュエータ(モータ等)やセンサ等の電装品のためのノードとを混在させた場合、システム全体の通信速度を高いものに設定せざるを得なくなり、これがコストアップの要因になっていた。

分と多重通信部分とを混在させたものであり、多重通信部分においては距離的に分散して配置されたスイッチや負荷等が多重伝送ユニットで接続されている。このユニットとスイッチ、負荷間は個別の配線が必要であるために、配線の全長は減るもの、その数は増えると言われている。また、集中型は、1つのマスタの伝送ユニットに対して複数のスレーブの伝送ユニットが接続されるもので、細径化効果は得られるものの、マスタがダウンするとシステムダウンになる、また設計変更が困難になるなどの欠点があると言われている。一方、分散型はコストはかかるものの、大きな細径化効果が得られること、一部ダウンに対する信頼性が高いこと、設計変更に対する柔軟性が高いこと等の点で脚光を浴びている(例えば、特開昭62-4658号)。

この分散型多重通信システムでは、例えばSAE(米国自動車技術会)標準化案では、CSMA/CD方式が採用されている。

また、本出願人から、このCSMA/CD方式

一方、トラクション制御、後輪操舵制御、ABS制御等の制御の高度化に伴なって、これらの制御は高速処理が必要とされるのみならず、これらのコントローラ間で使用される情報データは、これらのコントローラ間で密接に互いに関連し合っている。換言すれば、これらのコントローラ間では情報のやり取りが不可欠になってきている。言い換えれば、このようなコントローラのためのノードを、他のノードと別個なものとして、1つのグループと考えてシステムを再構成する時期にきている。

このネットワークの再構成をいかなる観点から行なうかは、走行制御に対する寄与度を考慮してなされるべきである。例えば、上記コントローラのためのノードは、互いに密接に関連し合っている点を考慮されるべきである。

本発明はこのような背景に基づいてなされたものであり、その目的は、システム全体で、走行制御に対する寄与度に応じて各ノードを集約することにより処理経路の集約化が可能となった車両用

多重伝送装置を提案することにある。

(課題を達成するための手段及び作用)

上記課題を達成するための本発明の構成は、1つ以上の第1のグループの通信ノードと1つ以上の第2のグループの通信ノードとを車両内に有する車両用多重伝送装置において、前記第1のグループの通信ノードが共通に接続された第1の多重伝送路からなる第1のネットワークと、前記第2のグループの通信ノードが共通に接続された第2の多重伝送路からなる第2のネットワークと、前記第1と第2の伝送路とを接続するノードであって、第1のグループのノードと第2のグループのノードとの間でのデータ転送を司るゲートウェイノードとを具備したことを特徴とする。

各グループ間では、走行制御に対する寄与度に応じて適切に配分されたノードのみからなるネットワークを形成することが可能となると同時に、ゲートウェイノードの介在により、各ネットワークは孤立することなく相互にデータ転送が可能となる。

は車両内で統合ネットワークを形成している。車外ネットワーク30は接続コネクタ60により、ゲートウェイノード40を介して、車内ネットワーク10, 20に接続され得る。

ゲートウェイノードの機能について説明する。各ネットワーク上では、2つ以上のフレームは存在し得ない。換言すれば、各ネットワーク上では、各々同時に、1つづつのフレームが存在し得る。これを許すのが、ゲートウェイ40の機能である。即ち、各ネットワークはゲートウェイ40により接続され、ゲートウェイ40の有する必要に応じたフレーム交換機能により、同時に、各々のネットワーク上にフレームが同時に伝送されるのを許すのである。この点について、ファンクションナルアドレッシングと関連して、後により詳細に説明する。

この実施例の自動車用多重伝送方式では、第2図に示すような構成のフレームFごとに自動車運転情報が伝送される。

フレームFは、SD(Start Delimiter)コード

(実施例)

以下添付図面を参照して、本発明を、上述のPALMNET方式を用いた自動車用の多重通信装置に適用した場合の実施例に従つて説明する。

第1図はこの実施例の構成を示す。図中10, 20, 30は伝送ラインであり、ツイストペア線が用いられている。通信速度は20k bpsとした。これらの伝送路には、各々、複数のノードが接続されており、各々がネットワークを形成している。即ち、ネットワーク10には、1~6までのノードが接続されており、ネットワーク20にはノード21~28が、ネットワーク30にはノード31~34が接続されている。

ネットワーク10, 20は車両内に設けられたネットワークである。また、ネットワーク30は車両外のネットワークであり、本実施例では故障診断用のネットワークシステムである。ネットワーク10, 20, 30は、夫々、伝送路52, 50, 51を介してゲートウェイノード40により相互に接続され得る、ネットワーク10, 20

ド、プライオリティコード、フレームIDコード、データ長、データ1~データN、チェックコードを有するフレーム構成になつていて。

先ず、「SDコード」は、フレームFの開始を表す特定のコードであり、受信多重ノードはこのSDコード符号を受信するとフレームFの開始を認知するようなつていて。 「プライオリティコード」は同時に複数の多重ノードがデータを送信し、信号が衝突した場合にどの信号を優先して処理するかを指示する優先順位を示す符号である。この実施例では、プライオリティはビット値で低いものほど高い優先度が割り当てられている。これは、バス1では、ローレベルがWIRED-ORとなつてゐるためである。もし同時に複数のノードから信号が送出された場合は優先度の高いノードの「プライオリティコード」がバス1上に残るので、低い方のノードは自己の送出した「プライオリティコード」が別のコードに変つてゐることから、衝突を検出する。そして、自己の失敗フレームの再送を遅らせることにより、高い優先度のノード

からの再送を優先するようになっている。

「フレーム I D コード」は当該フレームの送出先を示すコードであり、SAE International Congress and Exposition (1986年 2月) に発表された文献「A Proposal for a Vehicle Network Protocol Standard」の中にあるファンクショナルアドレッシングに相当する。この I D コードは、送出元のノードが付すようになっている。

「データ長」にはこのあとに続くデータの数が書き込まれ、N 個のデータがあるとすればデータ長として N が送られる。このフレームを受け取つた多重ノードでは、データをデータ長の内容だけ読み取る。そしてデータに引き続くフィールドが C R C チェックコード (誤り検出符号) で、これを確認することによりフレームの終わりであることを知ることができる。尚、第 3 図のフォーマットは一般的な形式を示しており、本実施例で用いられるフレームのデータ長は 4 バイトに統一されている。そして、同じフレーム内には、例えば、E G I 用の情報も含まれれば、後述の A B S 用の

ネットワーク 1 0 には、エアバッグ・コントローラユニット (図中には、C/U で表記) のためのノード 1 と、前述のエンジン制御のためのコントローラ E G I ・ C/U のためのノード 2 と、自動変速器コントローラのためのノード 3 と、後輪駆動用コントローラ (4 W S ・ C/U ) のためのノード 4 と、アンチロックブレーキシステム (A B S ・ C/U ) コントローラのためのノード 5 と、トラクションコントローラ T R C ・ C/U のためのノード 6 とからなる。即ち、ネットワーク 1 0 には、主に、コントローラのためのノードが接続されている。従って、このようなノードを「コントローラ系ノード」と呼ぶこととする。

ネットワーク 2 0 は、コンビネーションスイッチ用のノード 2 1 と、車速メータ等の各種メータのためのノード 2 2 と、ステアリングスイッチ用のノード 2 3 と、助手席のドアの各種スイッチのためのノード 2 4 と、エアコンの動力アンプのためのノード 2 5 と、オーディオ用の各種操作スイッチ用のノード 2 6 と、エアコンのスイッチ用の

情報も含まれる。

第 3 図は、エンジン制御用のコントローラを例にした通信ノードの一般的な構成を示した図である。各ノードは通信用 L S I 1 0 1 を介して伝送路 1 0 に接続されている。1 0 0 は制御を行なう C P U であり、R A M / R O M 1 0 2 に格納されたプログラムに従って動作する。C S M A / C D 方式の物理層レベルのプロトコル制御は L S I 1 0 1 により行なわれる。C P U 1 0 0 は、L S I 1 0 1 を制御し、また、L S I 1 0 1 からのデータを処理して E G I コントローラに渡したり、または E G I コントローラからのデータを L S I 1 0 1 に渡すための制御を行なう。即ち、エンジン制御に専念するコントローラのために、バス上のフレームデータを E G I コントローラが使用可能なフォーマットに変換したり、E G I コントローラからのデータをフレームフォーマットに変換したりする。

第 1 図における各ネットワークのノードについて簡単に説明する。

ノード 2 7 と、運転席のドアの各種スイッチのノード 2 8 とからなる。即ち、ネットワーク 2 0 に接続されているノードは車体に関連したスイッチ、センサ、アクチュエータであり、これらを総称して、以下、「ボディ系ノード」と呼ぶ。

ネットワーク 3 0 には、各種故障診断用の装置ノード (3 1 ~ 3 4) が接続される。

このように、コントローラ系ノードのみをネットワーク 1 0 に集約することにより、ネットワーク 1 0 では効率的な「協調制御」が可能となり、また、ボディ系ノードのみをネットワーク 2 0 に集約して、ネットワーク 1 0 から切り離すことにより、コントローラ系ノードの暴走が、ネットワーク 2 0 に及ぶのを防止することができる。

前述の所謂ファンクショナルアドレッシング、即ち、I D コードを説明することにより、3 つのネットワーク間の相互接続を説明する。

第 2 図のデータフィールドの 4 バイトの中の各ビット位置に格納されるデータの種類は前述の I D コードにより異なる。換言すれば、その受信し

たノードは、IDコードを知れば、フレーム中のビットの情報が何を表わすかを知ることができる。つまり、自分宛の情報か、又は自分に必要な情報かを判断することができる。

一方、前述したように、ネットワーク10, 20では、ゲートウェイ40により、論理的に同時に1つのフレームが存在し得る。従って、同じネットワーク内のノード間でのみ必要なフレームを交換している限りは、ネットワーク10, ネットワーク20は夫々独立に効率良くフレーム伝送を行なうことができる。即ち、ネットワーク10内では効率良く「協調制御」が可能となる。しかし、当然のことながら、コントローラは、センサやスイッチからの情報無しには制御を行なえず、また、アクチュエータ無しには制御を完結できない。従って、ネットワーク10とネットワーク20間でのゲートウェイノード40を介したフレームのやり取りが必要となる。ゲートウェイ40は、前述のIDコードを見ることにより、例えば、ネットワーク10上のフレームがネットワーク

転送するようにしている。

第5A図はゲートウェイノード40以外のノードの制御手順を簡略的に示したものであり、第5B図はゲートウェイノード40の制御手順を示したものである。

第5A図の一般ノードにおける伝送制御手順について説明する。ステップS2では、伝送路(10, 20, 30)上にフレームの先頭を示すSDが検出されたかを調べる。SDが検出された場合は、ステップS4でそのフレームを受信する。ステップS6では、その受信フレーム中のIDコードから、そのフレームが自己宛のフレームかを調べる。自己宛の情報を含むものであれば、ステップS8で、必要データを取出して、ステップS10で処理する。即ち、ステップS10では、当該ノードがボディ系のノードで、例えば、エアコンアンプノード25であれば、そのアンプを駆動する。また、当該ノードがコントローラ系ノードであれば、その例えば、EGIコントローラに必要な、例えば、必要トルク情報を渡す。

ク20内のノードでも必要か否かを判断し、必要であれば、そのフレームをネットワーク20に転送する。

第4図は、IDコードに応じて、そのフレームがどのノード宛の情報を含むかを示すものである。例えば、ある送信元のノードがID=80のフレームを送出すれば、そのフレーム中には、EGIノード及びEATノード及びコンピネーションノードが必要とするデータ情報を含むことが分る。EGIノード及びEATノードはネットワーク10に接続されているが、コンピネーションノード21はネットワーク20に接続されている。もし、コントローラ系の1つのノードからID="80"を有するフレームがネットワーク10に送出されれば、このフレームを必要とするコンピネーションノード(ネットワーク20上にある)にも当該フレームを転送しなくてはならない。そこで、ゲートウェイノード40は、このIDコードにより、他のネットワークでも必要とされるフレームかを判断して、必要に応じてそのフレームを

伝送路上にフレームがない場合は、ステップS12で送出データの有無を調べる。この有無は、センサ、スイッチやコントローラからの割り込みによりCPU200に知らされる。そこで、送出データがあれば、ステップS14で、そのデータをセンサ、スイッチやコントローラから集める。ステップS16では集めた情報に対応したIDコードを設定する。そして、ステップS18で伝送路がビジーでないことを確認してから、ステップS20でそのフレームを送出する。

第5B図により、ゲートウェイノード40の制御手順を説明する。先ず、ステップS40で、伝送路(10, 20, 30)上にフレームの先頭を示すSDが検出されたかを調べる。SDが検出された場合は、ステップS41でそのフレームを受信する。ステップS42、ステップS44では、その受信フレーム中のIDコードから、そのフレームが別のネットワークでも必要となる情報を含むものであるかを調べる。このチェックは、第4図のようなテーブルをゲートウェイノード40が

有することにより可能となる。もし他のネットワークで必要な情報を含むノードであると判断されたならば、ステップ S 4 6 で伝送路がビジーでないことを確認してから、ステップ S 4 8 でそのフレームを送出する。

このようにして、ネットワーク 10 → ネットワーク 20 → ネットワーク 30 間でのフレーム転送が可能となる。このフレーム転送は必要なときしか行なわれず、従って、個々のネットワーク内での通常のフレーム伝送（他のネットワークへの転送を必要としない）は極めて効率良く行なわれる。

第 6 図は、故障診断装置ノードが装着された場合の、ネットワーク 30 との間で交わされるフレーム（フェール報知フレーム）のフォーマットである。フェール報知フレームの優先順位は “0 E” である。即ち、最高優先順位に設定されている。これにより、フェール報知フレームのシステム全体への到達が最優先に行なわれる。また、ID は “0 1” であり、この ID コードにより、受

ノード同志は、ネットワーク 10 により接続されているので、同じ 1 つのフレームが複数のコントローラ系ノードにより同時に使用されるので、データ伝送が極めて効率良い。

また、ボディ系ノードはコントローラ系ノードから分離されているので、コントローラの暴走が走行に大きく影響するモータやアクチュエータを誤動作させるというようなこともなくなる。

②：また、ネットワーク間にまたがった情報は、ゲートウェイノード 40 により必要なときだけ転送されるので効率的である。この転送に関し、ID コードを参照するだけで転送の必要性の判断が可能である。

③：また、ゲートウェイを設け、脱着可能なコネクタを設けることにより、常時必要なない故障診断装置をネットワークに組み込むことが可能である。従来はこのような故障診断装置は並列バスにより結合されていたが、本実施例のようにシリアルバス結合により、脱着の容易さ、信頼性が飛躍的に高まる。

け手であるネットワーク 30 はフェール報知フレームであることを知る。DATA #0 フィールドは、当該フェール報知フレームの送り元のノードを特定する。本実施例では、“00000000” は EGI ノードを、“10000000” は TRC ノードを、“01000000” は 4WS ノードを、“11000000” はボディ系ノードを示す。DATA #2 フィールドは、どのノードがフェールしているかを特定する。DATA #2 フィールドの、最初のビットには EGI ノードのフェール状態が、2 番目のビットには TRC ノードのフェール状態が、3 番目のビットには 4WS ノードのフェール状態が、4 番目のビットにはボディ系ノードのフェール状態が示される。即ち、そのビットが “1” であればフェールしていることを、“0” であればフェールしていないことを示す。

かくして、故障診断も適切に行なうことができる。

以上説明したように、上記実施例によれば、

①：協調制御が必要な場合が多いコントローラ系

本発明はその主旨を逸脱しない範囲で種々変形が可能である。

例えば、ノードの数は上記の数に限定されるものではない。

また、上記実施例では、ゲートウェイとして、専用のゲートウェイノードを用いているが、ネットワーク 10 または 20 のいずれかのノードに兼務させてもよい。

#### （発明の効果）

以上説明したように本発明の車両用多重伝送装置によれば、1 つ以上の第 1 のグループの通信ノードと 1 つ以上の第 2 のグループの通信ノードとを車両内に有する車両用多重伝送装置において、前記第 1 のグループの通信ノードが共通に接続された第 1 の多重伝送路からなる第 1 のネットワークと、前記第 2 のグループの通信ノードが共通に接続された第 2 の多重伝送路からなる第 2 のネットワークと、前記第 1 と第 2 の伝送路とを接続するノードであって、第 1 のグループのノードと第 2 のグループのノードとの間でのデータ転送を司

どるゲートウェイノードとを具備したことを特徴とする。

各グループ間では、走行制御に対する寄与度に応じて適切に配分されたノードにみからなるネットワークを形成することが可能となると同時に、ゲートウェイノードの介在により、各ネットワークは孤立することなく相互にデータ転送が可能となる。

また、ゲートウェイノードを介したネットワーク構成により、車外のネットワーク（例えば、故障診断装置）との接続が容易となる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明を適用した実施例のネットワーク構成を示す図。

第2図は実施例で用いられるフレームのフォーマットを示す図。

第3図は実施例に用いられるノードのハードウェア構成を示すブロック図。

第4図はIDコードとネットワークノードとの

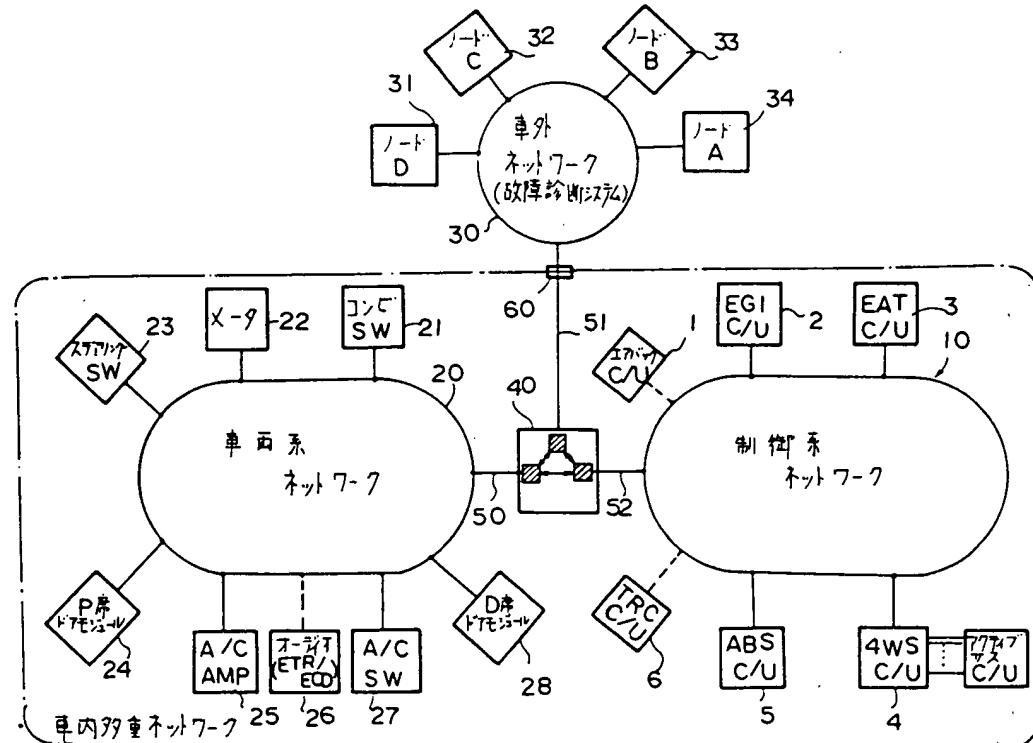
対応を示すテーブル図。

第5A図、第5B図は夫々、一般ノードの制御手順、ゲートウェイノードの制御手順を示すフローチャート。

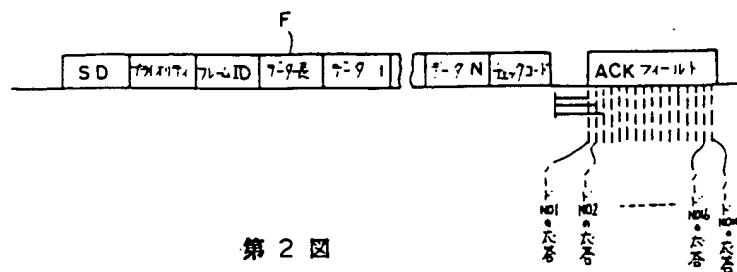
第6図はフェール報知フレームのフォーマットを説明する図である。

図中、

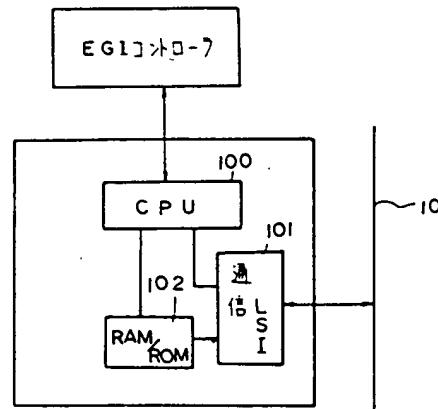
1…エアバッグC/Uノード、2…EGIC/Uノード、3…EATC/Uノード、4…4WSC/Uノード、5…ABSC/Uノード、6…TRCC/Uノード、10, 20, 30, 50, 51, 52…伝送路、21…コンピューションスイッチノード、22…メータノード、23…ステアリングスイッチノード、24…助手席ドアモジュールノード、25…エアコンアンプノード、26…オーディオノード、27…エアコンスイッチノード、28…運転席ドアモジュールノード、40…ゲートウェイノード、100…CPU、101…通信用LSI、102…RAM/ROMである。



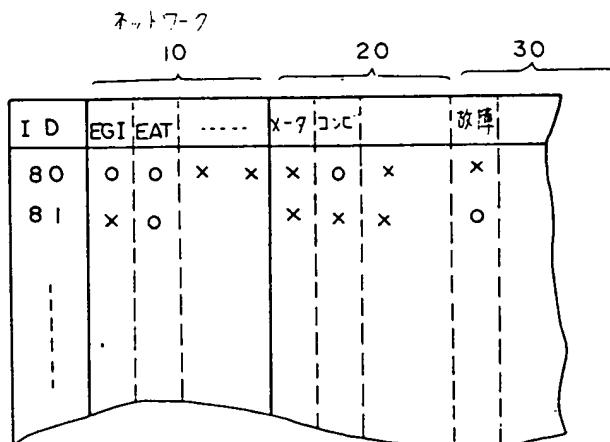
第1図



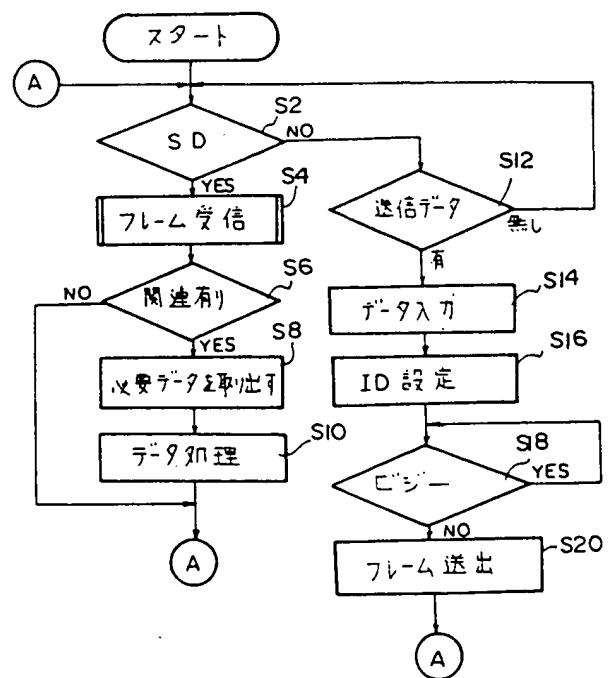
第2図



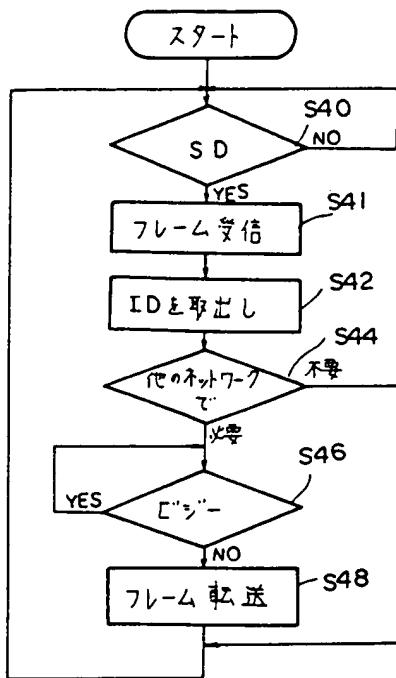
第3図



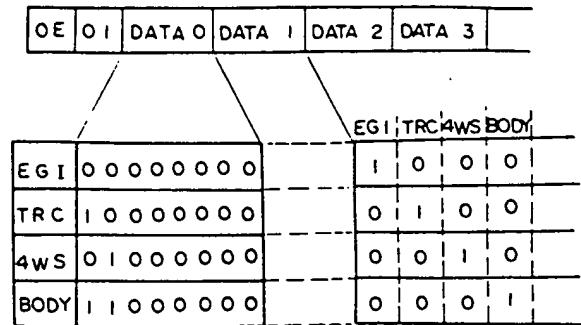
第4図



第5A図



第5B図



第6図